

# 科学フェスティバル in よねざわ 2013

実行委員 村上 聡

2008年度に初めて開催されてから第6回目を迎えました。子どもたちに、五感をたくさん使って科学の不思議さや楽しさを体験してもらおうと始まったこのイベント。技術部との関わりについて歴史を辿ってみたい。当時の田村地域連携担当が副実施責任者を務め、体感スペースの割振り、ポスター・チラシ図案作成、ガイドブックの編集、校正など準備作業の実務と調整に当たり「科学フェスティバル in よねざわ」のベースを築き上げました。また情報技術室の石谷、菊地(真)両氏がホームページ担当実行委員としてHPの立ち上げおよび更新を担当。写真や動画の映像記録は情報技術室を中心に担当した。体感スペースへの技術部からの出展は、四釜技術長率いる機器分析技術室スタッフによる1件のみであったが、2回目からは技術部調整連絡が置かれ各技術室から出展さ

れている。以後、毎年同じような形で科学フェスティバルを技術部職員が支えてきており、2010年度からは石谷、菊地(真)、鈴木(秀)各氏がそれぞれガイドブック担当、HP担当、記録担当の実行委員として実務を担ってきた。ガイドブックについては、今年度から計測技術室の大竹氏が担当している。長年尽力いただいた石谷氏には心から感謝と慰労の意を表したい。第一回目からの出展体感スペース数と入場者数を図1に示した。初回は35スペース、入場者1,000名弱であったが、第2回目からは入場者が倍増し、ほぼ2,000名強で推移している。スペース数は会場となる教室の関係で42,3がベストと言える。学部の財政事情問題もあるが今後もぜひ継続して開催したいものである。

## 科学フェスティバル in よねざわ 2013

主催：科学フェスティバル in よねざわ 実行委員会

日時：平成24年7月27日(土)、28日(日)

10:00~16:00

会場：山形大学工学部 4号館

出展総数：42体感スペース

来場者：2,019人(2日間)

### 技術部出展数：4件

すぺーす No. 8 斜面を歩くおもちゃを作ってみよう！

すぺーす No. 12 ブルブル虫

すぺーす No. 15 ソーダロケットを飛ばそう

すぺーす No. 37 画像合成 -かねたんといっしょに記念撮影 -

機器開発技術室

計測技術室

機器分析技術室

情報技術室

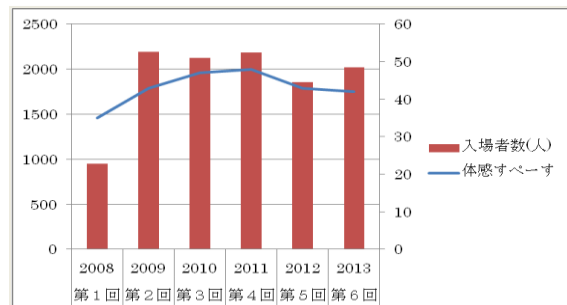


図1 すぺーす出展数と入場者の推移



写真1 ガイドブックとサプライズ参加のかねたん

### 実行委員(技術部関係者)

大橋栄市(副実施責任者)

村上 聡(技術部調整連絡)

大竹哲也(ガイドブック担当)

菊地真也(ホームページ担当)

鈴木秀茂(記録担当)

鈴木貴彦(電気電子工学分野調整連絡)